

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	医療安全論(Approach to Safety in Clinical Medicine)		
ナンバリングコード	S20115	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / コース共通
単位数	1	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	必修:診療放射線学コース、臨床検査学コース、臨床医工学コース		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S001551	クラス名	-
担当教員名	村中 博幸、野村 達八		
履修上の注意、 履修条件	授業計画に示した予習内容を課題として実施してください。 5回講義は基本的にスライドを用いた形式で進め、授業の終わりに確認テストを実施します。 3回のグループワークは内容を纏め、発表していただきます。 教科書を基本として授業を進めますが、参考資料はGoogle ClassroomでPDF形式で提供します。		
教科書	医療安全 多職種でつくる患者安全をめざして(山内豊明・荒井有美、南江堂、2015年)		
参考文献及び指定図書	医療安全ワークブック第5版(川村治子、医学書院、2024年) 放射線技術学シリーズ:医療安全管理学(日本放射線技術学会監修、オーム社)		
関連科目			

○基本情報		
授業の目的	医療安全管理学の基礎を学ぶ。 1.医療安全用語、安全文化、医療安全の基礎について理解する。 2.リスクマネジメントと医療安全体制について説明できる。 3.インシデントレポートとアクシデントレポートを作成できる。 4.感染対策、情報管理について説明できる。	
授業の概要	(概要)医療現場で発生しうる感染症の感染経路を理解し患者の安全のために必要な防御策の知識を学ぶとともに、医療における安全管理の概要を理解し、医療を担う一員として医療の質の向上と医療事故防止の重要性について学修する。 (共同(一部)／全8回) (村中博幸／5回) 医療安全、リスクマネジメント、医療情報管理と個人情報保護、医療機器・医療材料の使用・管理および感染対策 (村中博幸、野村達八(共同)／3回) インシデント・アクシデントレポート、チーム医療、危険予知トレーニング(KYT)	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	医療安全を熟知した診療放射線技師がこの授業を担当します。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	生命に対する尊厳と人権を尊重し、人間力の基盤である他者を思いやり、相手の立場に立った共感力や豊かな人間性、主体的にチームの中で協調して行動できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付けている。	30点	20点	5点
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	30点		
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】	日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。	15点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
第1回から第5回までの授業終わりには、確認テスト(25点配点)を実施します。発表の評価(5点)とします。 期末試験(50点配点)とし、第1回から5回講義内容の範囲とする。 レポート課題(20点)は各自で行ない期限内に提出する。	

○その他	
医療機関で業務を行う上で最も基礎的な内容を扱いますので、しっかりと予習・復習を行った上で授業に臨んでください。 発表はグループで行ない、評価する。 レポートは各自で行ない、Google Classroomから提出してください。 提出期限を3日過ぎた場合、評価は0点となりますので、必ず期限を守って提出するようお願いいたします。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	医療安全論（Approach to Safety in Clinical Medicine） 村中 博幸、野村 達八	授業コード	S001551
学修内容				
1. 医療安全を学ぶ意義 医療安全用語を説明できる。 患者安全とは何かを知る。 ヒューマンファクターの重要性和システムの複雑さを理解する。				
予習	教科書第Ⅰ章(p2～p17)を予習する			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
2. 医療安全の基本① チームの一員としての行動を理解し、エラーから学習する。 インシデントやアクシデントの報告のしかたを理解する。 医療におけるリスクマネジメント理論を理解し、品質改善の手法が説明できる。				
予習	教科書第Ⅱ章(p17～p33)を予習する			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
3. 医療安全の基本② 患者が知っておくべき情報、患者への情報の伝え方、医療事故への対処法を説明できる。				
予習	教科書第Ⅱ章(p34～p43)を予習する			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
4. 個人・チーム・組織としての医療安全への取り組み① 医療安全の基本的な考え方、人間の情報処理プロセスに基づく対策を説明できる。 何故、医療安全に多職種連携が必要か理解し、医療の専門家としての自覚をもつ。				
予習	教科書第Ⅲ章(p46～p67)を予習する			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
5. 個人・チーム・組織としての医療安全への取り組み② 呼吸療法サポートチーム(RST)、栄養サポートチーム(NST)、感染対策チーム(ICT)、ラピッドレスポンスチーム(RRT)の個人の役割と意義を理解する。 医療機関、地域、全国における医療安全の取組みを知る。				
予習	教科書第Ⅲ章(p68～p118)を予習する			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
6. 医療安全と危険予知トレーニング(KYT)① KYTの目的を理解し、教科書にある事例から1つ選び、グループで協力し検討する。 事故防止に必要な知識を理解し、リスクの発生から再発防止までの議論をグループで行う。				
予習	教科書第Ⅳ章(p120～p225)を各自で予習し、グループで課題を選択する。			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
7. 医療安全と危険予知トレーニング(KYT)② 各グループで事例を紹介し、現状把握し、リスクの本質を考え対策を樹立する。最後に再発防止を図る医療安全の目標を設定するまでの発表の準備を行う。				
予習	事例をグループで話し合い、発表の準備をする。			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
8. 医療安全と危険予知トレーニング(KYT)③ 各グループで発表の準備やPowerPointの作成、説明者、発表スライドの操作者など役割担当を決める。				
予習	グループで発表の準備や役割担当を決める。			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	医療安全論 (Approach to Safety in Clinical Medicine) 村中 博幸、野村 達八	授業コード	S001551
学修内容				
9.				
予習				
復習				
10.				
予習				
復習				
11.				
予習				
復習				
12.				
予習				
復習				
13.				
予習				
復習				
14.				
予習				
復習				
15.				
予習				
復習				
16.				
予習				
復習				